

事務事業評価表(既存事業)

コード 12-1-4	事務事業名 中学校校舎等大規模改造事業	所管部課 学校教育部教育庶務課
---------------	------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 一定年数及び老朽化した校舎・体育館については、順次改築・大規模な改修を実施する。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学校教育の充実(創2-3) (主要施策)小中学校校舎等の大規模改造
	実施内容、実施方法 平成14年度 体育館改造工事(柳沢) 平成16年度 体育館実施設計(明保) 平成17年度 体育館改造工事(明保)	根拠法令等
	事業開始時期 平成 14 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()	

評価指標の設定	活動指標名 設計を実施した学校数	活動指標の考え方(定義) 大規模改造工事の実実施設計を行った学校の数
	----- 工事を施工した学校数	----- 大規模改造工事を施工した学校の数
	成果指標名 設計の進捗率	成果指標の考え方(定義) 大規模改造工事の実実施設計が進捗した割合
	----- 工事の進捗率	----- 大規模改造工事が進捗した割合

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		78,120	0	3,675	82,077
	国庫支出金	千円	24,359			
	都支出金					
	地方債		51,700			76,700
	その他					
	一般財源		2,061	0	3,675	5,377
	所要人員(B)	人	0.04		0.01	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	330	0	83	0
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	78,450	0	3,758	82,077
	単位当たりコスト (E)=(D)/()	千円				
歳入	千円					
活動指標	目標値	校			1	0
	実績値	校	0	0	1	
活動指標	目標値	校			0	1
	実績値	校	1	0	0	
成果指標	目標値	%			100	0
	実績値	%	0	0	100	
成果指標	目標値	%			0	100
	実績値	%	100	0	0	

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	校舎大規模改造工事にトイレ改修を含める要望がある。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	他の自治体においても、類似事業あり。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	単位当たりコストは、平成16年度は設計1件の費用、平成14年度は工事1件の費用であり比較対照とはならない。

コード 12-1-4	事務事業名 中学校校舎等大規模改造事業	所管部課 学校教育部教育庶務課
---------------	------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	当初予定である、実施設計業務は完了。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	老朽化した体育館改修工事の設計として必要性がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	設計業務の落札比率は適正である。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	設計業務の入札については、競争入札を行っており公平性が保たれている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	16年度発注の体育館実施設計は完了。経年劣化により順次大規模改造を実施するところであるが、学校施設の適正規模・適正配置を視野に入れながら改造のスケジュールを検討する必要がある。

17年度における改善点	特になし。
-------------	-------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。